



KYUTECH TIMES

VOL. **64**
2024.10.1 | AUTUMN



CONTENTS

04 | VOICE OF GRADUATE

RIZAP テクノロジーズ株式会社
データマネジメント部
西村 勇亮 さん

06 | TOPICS

ネジチョコ × 九工大

07 | CAREER DESIGN

就職 DATA にみる
九工大の就職力

特集 | 九工大 Now

未来の
IT エンジニアを育てる
KCL とは？



キャリア支援係
@Career_Kyutech



KCLに参加する
(登録フォーム)

KCL受講生の声

インタビューと
撮影を担当したのは
情報工学府博士前期課程 1年
持田海音さん

KCLのイベント、KCL☆Hackに参加したいと思ったから。メンターに質問できたり、企業のエンジニアのセミナーに参加できたりと様々なサポートが受けられ、工学部ではなかなかできない経験ができると思ったから。
※KCL☆Hack:約半年でプログラミングスキルを身につけながらwebアプリを作るハッカソン

KCLに入った理由は?

プログラミングができなくて、危機感もち、なんとか頑張りたいと思ったから。ITエンジニアリングスキルアップ講座なので、九工大っぽいかなと思ったから!

実際にKCL☆Hackで開発したコピー体験を記録するwebアプリ「まめろく」

KCLの仲間と一緒に学外のハッカソン、Open Hack UIに挑戦!今も開発は継続中で、ハッカソンの開催と参加ができるSNSのようなサイトを作成中。参加者はハッカソンに参加することでレベルが上昇する仕組みになっています。

KCLに入ってよかったことや活動内容など

企業の方とのミーティングや、KCLの遠足(企業訪問)などKCLでしかできない経験ができること!なかなか企業の方とざっばらんに話す機会というのはないけれど、ここでは気軽に話すことができる!

企業の方や飯塚キャンパスのKCL受講生、様々な人と関わる機会がある。人と関わるのが好きな人にもKCLはおススメ。自分の専攻以外のことも知り、視野が広がるので、ぜひ参加してください。

KCLに入りたい方へメッセージ

大学には色々な機会があるけれど、それをもにできるかは自分次第。KCLは色々な機会がある、かつ参加しやすい雰囲気がある。みんな、キャリアだったプログラミングだったり積極的に挑戦したい!どうすればいいかわからないけどとりあえず興味がある!と考えていると思うので、迷っている方もぜひ入ってください!

工学部 宇宙システム工学科 4年
株式会社NTTデータフィナンシャルテクノロジー 内定
北原 将雄さん

情報工学府 生命化学情報工学科 4年
富士通株式会社 内定
結城 佑香さん

Kyutech Code LAB

未来のITエンジニアを
育てる

KCLとは?

KCL (Kyutech Code LAB) は、プログラミングをキーワードに「世の中の課題をITで解決できるエンジニアの育成」を目指した、産学連携の正課外教育プロジェクトです。KCLの主な特徴は、実践的な学びの場を提供することにあります。

KCLの学び3つのフェーズ

企業、OB/OG、大学が連携してITエンジニアに必要なスキルとマインドを育成するために、以下の3つのフェーズがあります。

Phase 1

学生自身で学ぶ

- オンライン学習教材を活用した自己学習
- 学生メンターによるフォローアップ
- 勉強会でグループで学ぶ

Phase 2

企業とOB/OGから学ぶ

- パートナー企業やOB/OGエンジニアによるハンズオンやミーティングで、実践的に学ぶ

Phase 3

アウトプットして学ぶ

- ハッカソンでプロダクトを開発し、その成果を発表
- KCL☆MeetUpでプレゼンテーション
- 審査員の企業やOB/OGからフィードバックを通じて、試行錯誤しながら学びを深める

※ハッカソン:一定の期間で、テーマに沿ったシステムやアプリを開発するイベント

パートナー企業

アクセンチュア、ウイングアーク1st、オービック、京セラ、GMOインターネットグループ、トヨタ自動車九州、日鉄ソリューションズ、ピクシブ、村田製作所、楽天カード、ラック他2社 ※50音順 敬称略

Event calendar

ガイダンス



ハロウィン企画



座談会

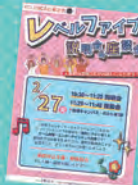
KCL☆Hack
セッ作業会



KCL☆Hack
発表会



ゲーム企画



ミーティング



(企業訪問)
KCLの遠足

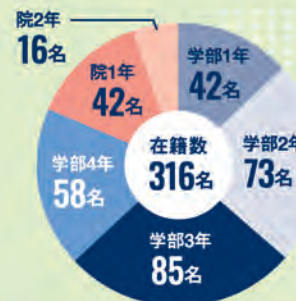


OBも登場!

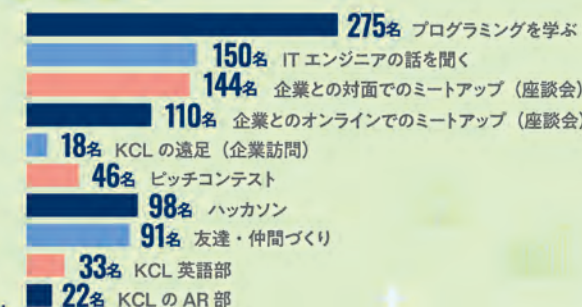


データで見るとKCL

KCL
在籍数



KCL
参加理由



イベントを運営する
学生スタッフと
学生メンター



UI構築とは



プログラミング学習のハンズオンも
学生が講師をつとめます



卒業生インタビュー

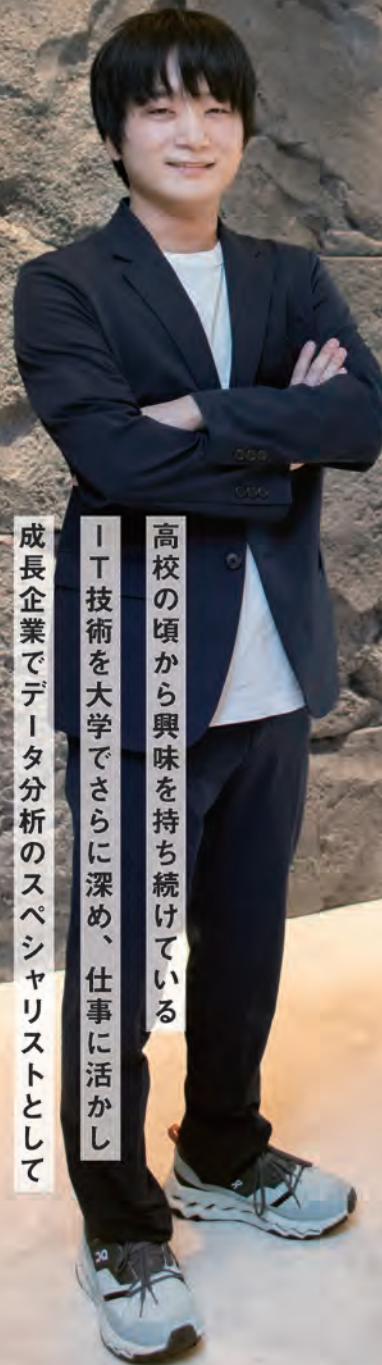
Data analyst
データアナリスト



WORKPLACE

RIZAP テクノロジーズ株式会社
データマネジメント部

九工大で得た知識や経験が基盤
信頼できるデータ分析で
企業の成長に貢献する
データアナリストに



PROFILE

RIZAP テクノロジーズ株式会社
データマネジメント部

西村 勇亮さん
NISHIMURA Yusuke

2020年3月
情報工学部
システム創成情報工学科 卒業
2022年3月
大学院生命体工学研究科 人間知能システム工学専攻 博士前期課程 修了
2023年4月
RIZAP テクノロジーズ株式会社
データアナリストとして入社

高校の頃から興味を持ち続けている
IT技術を大学でさらに深め、仕事に活かし
成長企業でデータ分析のスペシャリストとして
活躍する西村さん。
九工大の魅力や学び、現在の仕事内容ややりがいなど
さまざまなことを伺ってみました。

Q1 九工大を選んだ理由は何ですか

高校時代にスマホが普及し、SNSが多くの人に使われるようになったのが大きなきっかけです。「今後はコミュニケーションツールとしてIT技術が使われるのか」と驚きました。そのシステムがどのように動いているか気になり、プログラミングを学びたいと思いました。九工大は地元の大学で歴史があり、情報工学部はキャンパスが独立しているので学習環境も充実していると思って選びました。

Q2 大学ではどんな事を学びましたか

1丁の基礎となる分野を幅広く学びました。特に統計学、微分方程式や線形代数、データベースやプログラミングなどのエンジニアリングの知識は、現在のデータアナリストとしての仕事に直接的に役に立っています。また大学院では、センサ系のデータ分析を学びたくて生命体工学研究科を選びました。大学院での学びもまた、今の仕事につながっています。



Q3 インターンシップには参加しましたか

大学院の修士課程で2週間ほど、IT系の技術開発企業のR&D部門でインターンシップに参加しました。ここでは、画像認識の深層学習フレームワークの検証を行いました。いつも行っている大学での研究ではなく、仕事として取り組んでいく過程が勉強になりました。職業としてのエンジニアの心掛けなど、学生の立場で経験できないリアルな現場を体験できたことが良かったです。

Q4 大学時代にしておいて良かったと思うこと、今につながっていることはありますか

良かったことは、学会への論文投稿です。その際に勉強した機械学習・統計の基礎知識や知見は、今でもかなり活かされています。限られた時間で着実に論文投稿を行うプロセスは今の仕事に似ており、いい経験になりました。また、大学での情報系と数学系の授業や、与えられた課題の解決策を自主的に見いだす研究活動も、現在の仕事に役立っています。

Q5 今の企業を選んだきっかけや理由を教えてください

大学時代にスマートウォッチによるバイタルデータを用いた分析をしており、自分の専門性を伸ばしながらヘルスケア分野でQOL（クオリティ・オブ・ライフ）の向上に寄与したいと思ったからです。また、RIZAPは仕事の専門性も高いですし、店舗経営とアプリケーションの運用を行っており、その2つの側面からデータ活用をしている点でも新しいことに挑戦できる会社の環境だと思いました。

Q6 現在の仕事内容を教えてください

私の仕事は、主に24時間無人運営ジムchocoZAPに関する分析業務です。ジム会員の動向を分析して運営の効率化と会員満足度の向上に努めるとともに、ABテストでマーケティング戦略を策定するための評価をしています。さらに、本社では動画配信サービス「chocoZAP TV」も運用しており、このプラットフォームの推薦アルゴリズムの概念実証(POC)を行い、最終的な仕様の決定にも携わっています。

Q7 現在の生活スタイルと今後の目標を教えてください

現在、フルリモート・フレックスタイムの勤務ですが、通勤の疲労や時間を削減でき、退勤後の自由な時間も増えました。働く場所を選ばないので、帰省もしやすいですね。将来的には、データ分析のスキルを活かして、機械学習や統計モデルを駆使したサービス開発に挑戦したいです。福岡に住み東京の仕事に携わる、ということも考えています。

Q8 仕事のやりがいは何ですか

多くのデータを解析し、そこから新たな洞察を得て、それを基に会社の戦略や運営を具体的に改善することに、やりがいを感じます。RIZAPでは、マーケティングや広告に特化し、その効果をデータに基づいて評価しています。分析結果がスピーディに反映され、サービスの成長に寄与している実感がありますし、仕事へのモチベーションにもつながっています。

Q9 九工大生、九工大を目指す高校生にメッセージをお願いします

九工大では、基礎から応用まで幅広く学べる環境が整っています。エンジニアとしての基礎知識をしっかりと学びつつ、最新の技術や実践的なスキルも身につけることができます。また、九工大には数学やプログラミングに興味のある人が多く、そんな友人とともに過ごすことが刺激になり、自分の視野も広がりました。エンジニアになりたい、最先端の技術に興味があるという方には、最適な大学だと思います。



就職先のご紹介

RIZAP テクノロジーズ株式会社



2022年6月にRIZAPグループ株式会社の連結子会社として設立。60を超える企業からなるRIZAPグループ内外の、IT・デジタル領域の開発・提供を担うテクノロジーカンパニーです。特に、コンビニエンスストア「chocoZAP」(会員数120万人、店舗数1500店舗 ※2024年5月15日時点)をはじめとするヘルスケア領域のDX化や、グループ企業全体のデータ基盤構築・データ分析等に取り組んでいます。

MY WORKPLACE

chocoZAP
会員登録者数

120万人

店舗数

1500店舗

※2024年5月15日時点

就職に強い九工大

就職DATAにみる九工大の就職力

2023年度 学部・大学院卒業生DATA

最新の就職データで九工大の就職の「強み」と「質の高さ」をCHECKしよう!



就職先上位企業ランキング

1位 パナソニックグループ

26人

2位 京セラ

16人

3位 東京エレクトロン

12人

学部卒業生・大学院修了者 上場企業就職率

46.6%

公務員を含めると

49.3%

質の高い就職先

ダントツに高い就職率

100.0% (2023年度卒業生)

99.8% (2023年度修了者)



就職に力を入れている大学

国立大学中 全国1位
全大学中 5位

(全国2,000進学校の進路指導教諭が選ぶ「就職に力を入れている大学」※大学通信調べ)

手厚いサポート



大学院修了者 上場企業就職率

54.8%

理系女子の就職先

1位 日鉄ソリューションズ九州 15人

過去5年間 (2019年度~2023年度)

官公庁でも活躍中 公務員就職

121人

過去5年間 (2019年度~2023年度)

就職先TOP 25

就職希望者数
●学部: 288名
●大学院: 600名

順位	企業名	就職者数	順位	企業名	就職者数	順位	企業名	就職者数
1	パナソニックグループ	26	11	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング	8	25	アイシン	5
2	京セラ	16	14	SCSK	7		NTTデータ	5
3	東京エレクトロン	12		オービック	7		Qsol	5
4	トヨタ自動車	11		九州工業大学(教員・研究員・職員等)	7		スズキ	5
	三菱電機	11		QTnet	7		ソニーセミコンダクタソリューションズ	5
6	NECソリューションイノベータ	10		日鉄ソリューションズ九州	7		大日本印刷(DNP)	5
	トヨタ自動車九州	10		日本電気(NEC)	7		タカギ	5
	富士通	10		日立製作所	7		TOTO	5
9	日鉄ソリューションズ	9		本田技研工業	7		TOPPANホールディングス	5
	YE DIGITAL	9		安川電機	7		日本製鉄	5
11	北九州市	8	23	福岡市	6		マツダ	5
	九州電力	8		三井ハイテック	6		ローム	5

※公務員24名

北九州土産

ネジチョコ × 九工大

コラボ商品開発中!

宇宙システム工学の学生たちの「九工大をもっと全国にPRしたい!」

という熱い思いから生まれたこの企画。

学生自らネジチョコの製造・販売元である

オーエーセンター株式会社の吉武 太志社長に掛け合い、実現にいたりました。チョコのデザインから販売店の交渉に至るまで、学生が主体的に行っています。



NEJI CHOCO

ネジチョコ

“世界遺産のある街・北九州”のお土産として製鉄所の鉄をイメージした、ボルトとナットの形のチョコレート。

発売日:2024年11月発売予定
販売価格・販売店舗は決まり次第公式ウェブサイトおよびSNSにてお知らせします!
※2024年8月の状況です。

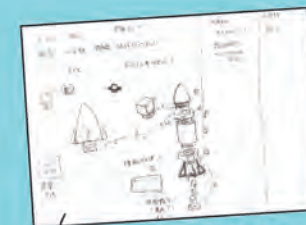
発起人

工学府工学専攻宇宙システムコース 1年 島山 雄樹さん



北九州のお土産の中で一番好きなネジチョコとコラボすることで、少しでも九工大の知名度が上がって欲しいなと思っています。また、それと同時に北九州市 = 宇宙の街というイメージが全国的世界的に広がっていききっかけになればいいなと思っています。

02 3Dプリンターで型を制作



▲アイデア出し

01 打合せ



「九工大といえは超小型人工衛星だよね」

「実際に組み立てられる形にするには？」

STORY 開発

04 試作品



完成をお楽しみに!

ここでトラブル発生。商品パッケージとしていいデザインが自分たちでは作れない!学生の1人が「宇宙デザイナー 山下コウセイさん」に直談判。快くお引き受けいただきました。



山下 コウセイ氏
宇宙領域を専門とするデザイナー

03 パッケージデザイン

九工大News 九工大の取り組みをご紹介します

超小型人工衛星の運用数、7年連続世界一!!



2024年にISSから放出された衛星 CURTIS

宇宙産業に関するアメリカの調査会社「BryceTech」によるレポート「Smallsats by the Numbers 2024」が発表され、「大学・学術機関における運用する小型・超小型衛星の数」において九工大は2018年から2024年までの7年連続世界一という快挙を成し遂げました。

九工大は2012年に鳳龍式号を大学として初の衛星として打ち上げに成功し、その後、衛星開発Project、BIRDS Project、KITSUNE、CURTIS、MO-1など、現在まで29機の衛星を打ち上げ、運用を行ってきました。

2024年度は3機の衛星が既に開発が最終段階に来ており、JAXAへの衛星引き渡しの準備を進めている所です。今後の九工大の衛星開発にご期待ください!

快挙! 世界大会「ロボカップ 2024」で Hibikino-Musashi@Home が優勝!!

大学院生命体工学研究科の学生を中心としたチーム「Hibikino-Musashi@Home (HMA)」が、今年7月にオランダ・アイントホーフで開催された世界最大のロボット・人工知能競技会「ロボカップ 2024」に出場し、世界の強豪チームを相手に、@ホームリーグ標準機部門で優勝しました!! ロボカップ 2017年、2018年の世界大会連勝に続く3度目の世界一です。

また、8月には北九州市長を表敬訪問し、優勝の報告とデモンストレーションを行いました。世界の強豪チームを含め年々技術は進化していますが、HMAは積み重ねてきた技術を継承し、さらなる高みを目指して挑んでいきます。今後もHMAにご声援をお願いします!



食器を保持するロボット



集合写真

九工大通信 WEB

九工大通信がウェブサイトでも手軽にアクセスできるようになりました。九工大の今話題の取り組みや、研究室・卒業生の紹介などのコンテンツをお届けします。ぜひオンラインでお楽しみください!



https://www.kyutech.ac.jp/information/kyutech_tsushin.html

九州工業大学
後援会

「九州工業大学後援会」では、学生の教育や課外活動などの支援事業を行っています。事業報告などは、右記QRコードをご覧ください。→



表紙より

人間とAIの協働社会の実現に向けて

人工知能(AI)は自動運転や医療診断など、私たちの生活に身近で重要な分野で活用され始め、またChatGPTのような言語AIは一般でも手軽に活用されるようになり、安全性や信頼性がますます重要視されるようになってきました。しかし、AIにはデータのわずかな変更で誤作動を起こしたり、訓練データのバイアスによって偏った結果を導き出したりと制御しにくい一面があり、政治的バイアスや倫理的判断の偏りも懸念されています。

竹本和広研究室ではこのような問題に向き合い、AIの信頼性を評価し、問題を解決し、AIを安全に社会で活用するための技術開発に取り組んでいます。これまでも、

■医療画像診断AIの脆弱性を分析・改善するアルゴリズムを開発し、COVID-19診断支援AIの安全性を向上させる

- 言語AIの政治的バイアスや倫理的判断の傾向を分析する
 - 自動運転車の倫理的意思決定について、人間の倫理観とのずれを明らかにする
 - AIの安全装置を回避する攻撃手法を発見し、防御の重要性を示す
- といった取り組みを行ってきました。これらの研究成果は、AIの問題点を正しく理解し、適切に対処するための基盤となり、人間の尊厳を守りながら、AIの力を最大限に活用できる未来につながると考えています。

私たちの研究は、今後AIの活用が進むに従い、ますます高度で複雑な情報技術が求められる分野です。より安全なAI社会の実現のためにも、私たちが研究している計算アルゴリズムや計算手法を、社会学や法律、心理学などと統合し、新たな学問体系として研究を続けていくことも目標としています。



飯塚キャンパス

竹本 和広 教授

情報工学研究院
生命化学情報工学研究室

